

## GSU (ギヤシフトユニット)

**重要**

この度は、GSU (ギヤシフトユニット) をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂たく、宜しく願い致します。

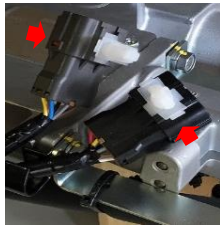
## 交換作業時のご注意

■開封の際、配線コネクタ (カブラ部) の破損、シフト/セレクトセンサーに衝撃を与えぬよう注意して下さい。

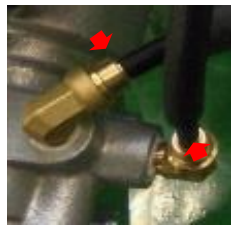
■コネクタ・ナイロンチューブは取り外ししないで下さい。やむを得ず取り外す際は変形させぬよう注意し、エアー漏れ点検を行って下さい。

■エアードライヤーの定期メンテナンスを怠っている車両の場合、GSU内の水分、油分が故障に繋がる場合があります。(エアース) また、変速不良の原因がミッション内部の故障 (切子の発生やオイルの汚れ、量) やクラッチディスクのダンパースプリングが破損している場合があります。

〈写真〉配線コネクタ部

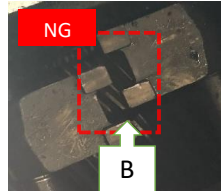
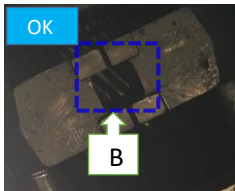


〈写真〉コネクタ・ナイロンチューブ



■GSU側 (A) と ミッション本体側 (B) を正しく接合して下さい。(シフトブロックの位置に注意)

〈写真〉GSUとミッション接続部



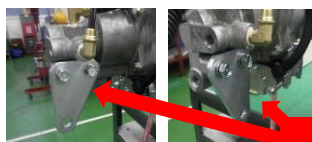
※ニュートラル位置になっていない場合でもGSUは違和感なく接続するので注意して下さい。

■エア配管接続時、ゴミ、異物等の混入に注意して下さい。

■エア排気用ホース (ピンク色) の折れ、つぶれに注意して下さい。

■カブラが「カチッ」と正しく接続されていても、僅かな接点不良やハーネス本体の劣化等により通電されない場合があります。もし、故障診断で電気系統の異常が確認された場合、カブラ又は、ハーネス本体の再点検をお願いします。

■過去故障メモリーが残っている場合は消去をお願いします。



■年式・型式によりブラケットの向きが異なりますので、故品の向きを優先し付替え作業をお願いします。

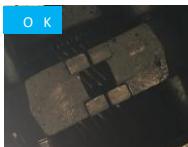

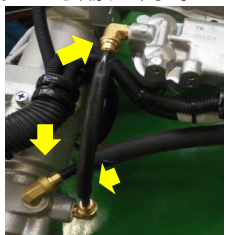
ブラケットの形状は変わりません。

〈写真〉排気用ホース (エアース)



## トラブルシューティング

作業完了後、よくあるトラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですが、もう一度ご確認の程、宜しく願い致します。

現象	原因と対処方法
シフト操作を行うことが出来ない。	GSUをミッションに接続する時、シフトブロックの位置がずれて接続されている可能性があります。  
エア漏れしている。	コネクタナイロンチューブの接続部からエア漏れがないことを確認して下さい。 
エンジンチェックランプが点灯している。	カブラが接続されていても、僅かな接点不良や車両側のハーネス本体の劣化による断線で通電されない場合がありますので再度確認をお願いします。 